

日中韓における質の保証を伴った大学間交流の促進

- キャンパス・アジア -

参考

平成25年8月 文部科学省高等教育局

概要

- 日中韓の政府・質保証機関・大学が協力して質の保証を伴った学生交流を展開する事業。
- 3国共同の審査を経て選定された10のパイロット・プログラムが展開中。

経緯

- 平成21年10月、第2回日中韓サミット(於:北京)において、日本より、3国間で質の高い大学間交流を行うことを提言、合意。
- 平成22年4月、東京で3国共同の第1回有識者会議(日本側議長:安西祐一郎日本学術振興会理事長)を開催。構想名称を「CAMPUS Asia」*(キャンパス・アジア)とすることなどに合意。
(*Collective Action for Mobility Program of University Students in Asia)

取組の状況

- 平成23年5月、第3回有識者会議(於:濟州)において、大学間交流促進のための3か国間のガイドラインの公表とパイロット・プログラムの公募について合意。
- 平成23年11月に、3国共同で10件のパイロット・プログラムを採択。
24年より学生交流を開始。
- 平成25年8月5日、6日に第4回有識者会議(於:東京)を開催。

キャンパス・アジア パイロットプログラム一覧

大学名	交流レベル	構想名	相手大学
1 東京大学	大学院	公共政策・国際関係分野におけるBESETOダブル・ディグリー・マスタープログラム	北京大学(中国)、ソウル大学校(韓国)
2 東京工業大学	大学院	日中韓先進科学技術大学教育環	清華大学(中国)、KAIST (Korea Advanced Institute of Science and Technology)(韓国)
3 一橋大学	大学院	アジア・ビジネスリーダー・プログラム	北京大学(中国)、ソウル大学校(韓国)
4 政策研究大学院大学	大学院	北東アジア地域における政策研究コンソーシアム	清華大学(中国)、韓国開発研究院(韓国)
5 名古屋大学	学部	東アジア「ユス・コム・ネ」(共通法)形成にむけた法的・政治的認識共同体の人材育成	中国人民大学(中国)、清華大学(中国)、上海交通大学(中国)、成均館大学校(韓国)、ソウル大学校(韓国)
6 名古屋大学、東北大学※	大学院	持続的社会に貢献する化学・材料分野のアジア先端協働教育拠点の形成	南京大学(中国)、上海交通大学(中国)、ソウル大学校(韓国)、浦項工科大学校(韓国)
7 神戸大学	大学院	東アジアにおけるリスク・マネジメント専門家養成プログラム	復旦大学(中国)、高麗大学校(韓国)
8 岡山大学	学部	東アジアの共通善を実現する深い教養に裏打ちされた中核的人材育成プログラム	吉林大学(中国)、成均館大学校(韓国)
9 九州大学	大学院	エネルギー環境理工学グローバル人材育成のための大学院協働教育プログラム	上海交通大学(中国)、釜山大学校(韓国)
10 立命館大学	学部	東アジア次世代人文学リーダー養成のための、日中韓共同運営トライアングルキャンパス	広東外語外貿大学(中国)、東西大学校(韓国)

※ 日本の大学でコンソーシアムを組むプログラム。名古屋大学が申請者代表